

べんちたいむ 第35号

発行日 令和2年5月7日

～ベンチタイムとは おいしいパンを作る為に欠かせない
パン生地のお休み時間のことです。～

☆☆☆ 1 ☆☆☆



編集元 特定非営利活動法人ゆづるは(旧:パン工房こすも)

816-0912 大野城市御笠川5-6-5

TEL/FAX 092-503-0147(オジーナ)

E-Mail: npoyuduruha@lilac.plala.or.jp

編集者 阿部 哲宏

監修 松尾 敦子

災害により、被害を受けられたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。
新型コロナウイルスの終息、一日も早く安寧の日々が戻りますように心より願います。

博多ロータリークラブ様よりご寄贈いただきました！

博多ロータリークラブ40周年記念行事として、紙枚数計数機

カウントロンをご寄贈いただきました。

博多ロータリークラブ様は、博多町人文化の伝統を受け継いで

地域交流と国際理解、友愛と親睦のロータリー精神に則り、多方面への

奉仕活動を展開されておられます、国際的な社交団体です。

博多ロータリークラブ様とのご縁は、11年前の創立30周年記念事業におかれまして

損害保険ジャパン福岡中央支店長様よりご紹介を受け、ご奉仕をいただきました事からでした。

今回、ご寄贈いただきました紙枚数計数機カウントロンは、ワークスタイルこすもの作業の大半である

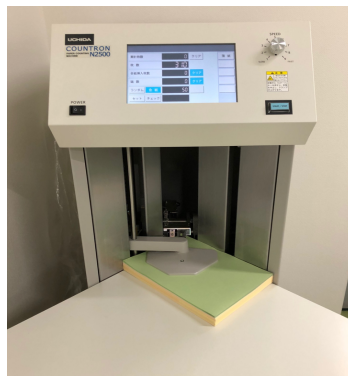
ダイレクトメール業務の効率化や精度向上に大きく貢献する機械です。

訓練生達の作業工賃の向上と経験値の高まりから、日々の作業処理件数が増える一方でボランティアや

職員の事前準備における負担が増加し、過酷な労働となっておりました状況を、カウントロンをご寄贈

頂きましたことで、1名のボランティアが2時間で50,000枚の計数作業を行うことが出来るようになりました。

ご寄贈の感謝の気持ちを忘れずに障がいのある方の支援を通し社会へ還元できるように努力していきます。



♪うちで作ろう～～～♪ひとり作ろう～～～♪

おうちで簡単、アベノマスクの改良手順(加工)近日掲載します。

ホームページを訪問してください、ゆづるはの活動内容をご覧いただけます。
コツコツとバージョンアップ中です。

ホームページアドレス: <https://www.workstyle-cosmo.com>



公開講座開催いたしました～ご報告！

「うちの子って・・・」 ～ こどもの不器用が気になるご家族へ ～

特定非営利活動法人ゆづるはでは、活動で得た利益をもとに、地域への還元として

障がい児・者支援の公開講座を毎年行ってきましたが、今回の講座は5年ぶりの開催となりました。

長らく行えなかったのは、就労継続支援事業B型のサービスのあり方が、大きく変わり活動から

働くこと（作業工賃）を重視した考え方へと、国の施策が変更されたためでした。



↑長瀬慎一さん

働く事＝作業工賃を沢山払うためには、沢山の仕事を受注し
作業を行わなければいけないため、全職員とボランティアが
膨大な量の作業資材の計数や視覚支援作りに追われることとなりました。
結果、余裕の時間が無くなり、公開講座を行えない5年間となって
しまったのです。

そんな窮地を救って下さったのが、「博多ロータリークラブ」でした。

10年前に、ご支援をいただいた後も、時に触れ折に触れては施設を訪問してくださり、困った事や
分からないことなどの相談をさせていただいていました。

さて、今回の公開講座では発達性協調運動障害（DCD障害）について三人の講師にお話をいただきました。

ゆづるはの、公開講座ではおなじみの講師陣、障がい支援のエキスパートの長瀬慎一さん、小学校教諭の

朝倉博実さん、筑紫野市ではらだ進学塾を主宰する原田進一さん、久しぶりの公開講座で

豪華に講師を3名にしてしまった理由は、講座のニーズ確認をするためでした。

近年、講座などの開催が激減し皆さんの関心は、ネットの情報が主と

なりつつある事が伺えたからでしたが、そんな予想も今回の講座で

払拭されました。

公開講座終了後のアンケート回収率は90%と高く、連続公開講座を希望

される回答者が100%に達していました。



↑原田進一さん

障がい支援を16年行ってきて、ずっと気になっていた「極端に不器用な」

人たちの存在、不器用なために自分自身に自身が持てず自己肯定感を

下げてしまい、人生を楽しめない、どうにか一石を投じました。

コロナ終息後は、連続公開講座を開催したいと思います！ 乞うご期待！！

↓朝倉博実さん



「火事だー！！！」 避難訓練行いました！

「火事だ！」の声に皆、緊張の顔に変わりました。

今回は、施設外就労先の作業中に火事が発生したことを想定。

玄関方面から火事発生のお知らせが入り、煙を吸い込まないように

低い姿勢で通用口へと向かって行きました。女性班より進み

男性班が後を追う、打ち合わせ通りに行動できました。

集合場所の駐車場から避難先のコミュニティセンターまでは

地震発生時のルートを使い無事到着しました。

※避難用ルート、3種（風水害・火事・地震）有ります。



コロナ自粛で始めた活動 その1 ♪



←桜が咲き始めた3月初旬から始まったウォーキング・ランニング運動が苦手な人にも好評です。

気晴らしに始めた、土いじり
ゴマ・バジル・ルッコラ・大根葉
きぬさや、好きな種を選んで
植えました。



収穫一番乗りは→
大根葉でした！
味噌汁の具や
漬物・ふりかけに
なります。



←間引きされた、大根葉・おかひジキ
ルッコラです。
サラダで食べました！



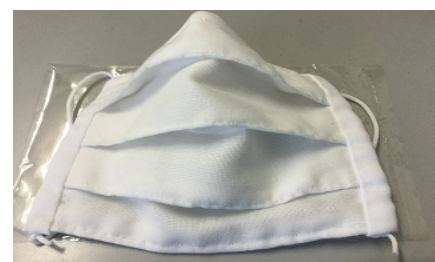
←マスク作りの様子
最初は、二人の参加者
だけでしたが、日に日に
希望者が増え、訓練生
全員でマスク作りと
なりました。



↑アベノマスクを分解して
三段プリーツマスクにしました。



←立体マスクの完成品！
鼻と口の部分が立体構造に
なっているため、息苦しい
マスクが張り付くなどの
不快感がありません
また、顔にぴったりフィットする
形です。



↑ 三段プリーツがこんなに
広がります！

コロナ自粛で始めた活動 その2 ♪



↑春と言えば、タケノコ。
訓練生も職員もみんな大好き！！



↑直径60cmの大鍋で3時間
柔らかく煮あがりました！！



↑干しタケノコを作ってます。



↑干しタケノコの完成品

忙しい毎日から、緊急事態宣言が発令され

ポカンと置き去りにされたような日々となりましたが

特別な何かをしなくても、少し周りを見渡すと

楽しい活動はいくつもあるな〜と気づくことができました。



↑煮沸消毒してます。
大鍋大活躍です！



↑出来上がりました。
このままで3年は持ちます。

会員・賛助会員及び、応援してくださった方々

R元年.12.1 ~ R2.4.30 (以下順不同・敬称略)

- ・藤永憲一
- ・志岐玲子
- ・重野和代
- ・田中久子
- ・古賀省三
- ・高倉 佳依子
- ・塚本寿子
- ・株式会社つくし更生会
- ・博多ロータリークラブ
- ・荒木玲子
- ・二ノ宮直子
- ・吉田道子
- ・はらだ進学塾
- ・(株)三友アンブレラ
- ・(有)イーデザインショップ
- ・(株)アルカン
- ・鈴木裕美子
- ・鹿毛陽子
- ・大久保光教
- ・鹿毛博多
- ・鹿毛水由紀
- ・長瀬慎一
- ・M&M
- ・大坪鮮魚店
- ・永利光弥
- ・鹿毛万裕美
- ・松尾政則
- ・的野安子
- ・松尾佐和子
- ・財前順子
- ・阿部初代

☆空き缶をください！空き缶は訓練生の仕事になります。 宜しくお願いします！

(アルミ缶) いつも匿名で空き缶を運んでくださる皆様ありがとうございます。

たくさんの方々のご支援とご協力ありがとうございました

♪ 賛助会員になってゆづるはこの活動に協力してください ♪

☆賛助会員 個人様 1口 1,000円 団体(企業)様 1口 3,000円
郵便振替口座 01740-3-61735 加入者名 トクヒ) ユヅルハ

~~~~~ 編集後記 ~~~~~

今回のベンチタイムはいかがでしたでしょうか？  
「いつもより画像が多いね」「おっ、4ページある！」と感じられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。  
コロナ緊急事態宣言により自粛を意識しての生活が続いていますが、こすもの利用者方の生活も同様に疲弊感を漂わせています。特に、3月は旅行やイベント参加予定の方が多くいらっしゃいましたが全てキャンセルとなり  
ならば、ゴールデンウィークこそ楽しむぞと意気込んでいましたが、緊急事態宣言に突入・・・  
当然、休憩時の会話もコロナウイルス一色となり、暗い雰囲気となりがちな日々でした。  
本来なら、3月は繁忙期で沢山の受注作業が入っていましたが、急遽キャンセルが続いたことから  
こんな時だから、屋外での活動も増やそうと始めた「ウォーキング」「野菜作り」、マスクも不足してきた  
事から、「マスク作り」旬だから「タケノコ保存食作り」など、案外と色々な活動があるものです。  
豊かになり過ぎたこの時代に、古き良き時代の活動を取り入れ生活能力のスキルアップも忘れずに  
しっかりと訓練が続けられています。

編集長